

Yala-Betong

ยะลา-เบตอง

ヤラー - ベートン

3วัน2คืน 3日2泊 4,599 บาท/人から

ราคาเริ่มต้น 4,599 บาท/คน



1日目: スワンナプーム空港 (バンコク) からの旅行 - ハジャイ - ベートン (ヤラー県) - ハラバラ橋 - ベートンモンコンリットトンネル - 私書箱

07.00 時 : スワンナプーム空港 (バンコク) からハジャイ国際空港に向けて出発します。タイエアアジアで、VZ320 便は飛行に 1 時間 30 分かかります。

08.30 時 : **ハジャイ** に到着します。その後、ヤラー県 (ベートン) に旅行します。旅行時間は約 4 時間 30 分です。

昼 : **レストランで食事をする。**

午後 : **ヤラー県** に到着します。次に、ヤラー県の大きな地区である **ベートン** に旅行します。マレーシアに伸びる槍の頭のように見えるタイ最南端の地区です。サンカラキリ山脈に位置し、面積は約 1,328 平方キロメートル、ヤラ市から約 140 キロメートル、バンコクから約 1,220 キロメートルです。ベートン地区の地形で、ほとんどの山は高いです。したがって、ベトン是一年中天気が良く、霧があります。地区のモットーは「霧の中の街、美しい花、最南端のサイアム、美しい国境の街」です。次に、**ハラバラ橋** に旅行します。この橋はベトーンへの主要な道であり、非常に人気のある展望台でもあります。橋の真ん中に立って、目が見える限り大きな入り江湖を見るのをお勧めします。両側は、まだ肥沃な常緑樹林の豊かな緑に囲まれています。ベトーン市に入る前に立ち寄って写真を撮ります。きっと美しい雰囲気の良い写真が撮れます。





その後、[ベートンモンコンリットトンネル](#)に旅行します。ヤラー県ベートン地区にある



タイ初の山を抜ける車のトンネルです。幅9メートル、高さ7メートルの鉄筋コンクリートで通勤者を容易にするために建てられるために建てられ、トンネル全体の長さは約273メートルです。2001年1月1日に正式にオープンしました。ベートンモンコンリットトンネルのハイライトは、一日中、車が入り出て、トンネル内を歩き回ることが

できる歩道があることです。時々、トンネルがライトアップされ、チェックインして写真を撮る必要があるヤラの美しいハイライトになります。夕方になると、このトンネルの前でたくさんの観光客が写真を撮りに来ます。すでにベトンを訪れている人は、トンネルを歩いて時計塔と大きな私書箱に行くことができます。次に、歩いて[私書箱](#)を見ます。タイ最南端の郵便ポストの元の場所であり、第二次世界大戦前から1924年に建てられた、高さ2.9メートルの最大の郵便ポストでもあります。そもそも作成された目的は、キャビネットの上部に埋め込まれたラジオからベトンの人々が聞くための町のニュースを発信する場所として使用する。

しかし今では、観光客が美しい写真を撮るための公民館に、高さ約9メートルの元の郵便ポストよりも大きな郵便ポストが建てられました。



夕方 : レストランで食事をする。

18.00時 : その後、ガーデンビューベトンホテルでチェックインに旅行します。荷物をまとめて部屋に入ります。自由行動休憩する。

2日目: アイヤーウェン霧の海 - ベートン温泉 - テープス橋 - ムエンブツパガーデン - ピヤミットトンネル - 谷の真ん中にあるスタジアム - ベートンウォーキングストリート (1/1)

朝 : **ホテルのレストランで朝食を食べます。** 食事の後、ヤラー県ベートン地区のアイヤーウェン区にある**アイヤーウェン霧の海**を見に旅行します。車で簡単にアクセスできるベトンの人気の海霧の展望台であり、一年中見ることができる霧の海があります。アイヤーウェン霧の海は、海拔 2,038 メートルのマイクロベープ山のエリアにあるベートン地区から約 40km に位置し、大きくて美しい霧の海です。朝、この展望台は地球上の楽園になり、観光客が霧の海を楽しんだり、新鮮な空気とマイクロベープ山の美しい景色を体験したりすることができます。アイヤーウェン霧の海展望台は日帰り旅行で訪れることができます。見るべき 2 つのスポットでの旅行: 展望台 1 と展望台 2 は、食品のセールポイントの隣にあります。しかし、土曜日の休暇中日曜日は、多くの観光客が霧の海を見に来て観光客は第展望台 1 でかなり混雑しています。日の出前の最も高い視点のほとんどが最初にここに向かいますが、これはかなり狭く制限されています。視点 1 で霧の海を見に来るには、車を持ち上げることはできません。駐車場に車を駐車し、約 500 メートル歩く必要があります。この展望台 2 は、展望台エリアに駐車できるように車が上がりできます。各ポイントには、写真を撮るための標識と美しい角度があり、目の高さで雲海を間近で見ることができます。



行で訪れることができます。見るべき 2 つのスポットでの旅行: 展望台 1 と展望台 2 は、食品のセールポイントの隣にあります。しかし、土曜日の休暇中日曜日は、多くの観光客が霧の海を見に来て観光客は第展望台 1 でかなり混雑しています。日の出前の最も高い視点のほとんどが最初にここに向かいますが、これはかなり狭く制限されています。視点 1 で霧の海を見に来るには、車を持ち上げることはできません。駐車場に車を駐車し、約 500 メートル歩く必要があります。この展望台 2 は、展望台エリアに駐車できるように車が上がりできます。各ポイントには、写真を撮るための標識と美しい角度があり、目の高さで雲海を間近で見ることができます。

次に、ヤラー県タノオメーロ地区のチャロオパライ村にある**ベートン温泉**に旅行します。

面積約 3 ライの大規模な天然温泉です。地下から湧き出るお湯にはミネラルが多く含まれており、水温は摂氏約 80 度です。この沸点で、卵



は 10 分以内に調理されるまで茹でることができます。ヤラー県は、レクリエーションやヘルスツーリズムの促進に適したものにするために、温泉周辺の景観を美しく、それでも自然に改善しました。ベートン温泉の中には、温泉の水を溜め込んだ大きな池があり、公民や観光客が足浸けしたり遊んだりすることができます。各ゾーンは、大規模な温泉、新しい温泉、水治療法の建物など、衛生基準を満たすように設計されています。このミネラルウォーターは、痛み、脚気、皮膚病など、多くの病気を和らげることができると考えられています。すべての快適さを完備した宿泊用の建物もあります。毎日 09.00 時-17.00 時から訪問者に開放されています。



その後、**テプス橋**に旅行します。木製の吊橋です。アイヤーウエンの消防署オフィスとヤラー県アイヤーウエン区ベートン地区首長室、第 2 村、KM.32 ハウスの間にあります。パッタニ川を渡って幅 1.8 メートル、長さ 100 メートル以上です。モンティエン・テプス氏の父であるムセン・テプス氏の元アイヤーウエン区町長から建てられました。彼らは日本からの橋を接続するためにスリングラインを注文しなければならないので、



不十分な政府と一緒に村人からの力と貢献を動員するのを手伝って。当時は非常に大きな問題で、川の向こう側の村人たちの苦難を助けることができません。当時は竹のいかだを使って渡らなければならず、村人、特に子供たちは毎年亡くなりました。農産物や病気の人を動かすとき、それは非常

に難しいです。テープス橋の建設は、コミュニティの人々の性質と団結を克服することにおいて Km32 人の闘争の象徴として協力して作成されました。橋はアイヤーウエン霧の海とラマ9世の滝の海の近くにあり、ハイウェイ 410 にもあるため、観光客はお土産として写真を撮りに訪れて人気があります。ヤラー県ベートン地区のアイヤーウエン区を訪れる際に見逃してはならない新しいランドマークです。したがって、この場所が過去3年間（2016～2018年）にアイヤーウエン地区で最も人気のある観光名所の1つにランクされていることは驚くべきことではありません。



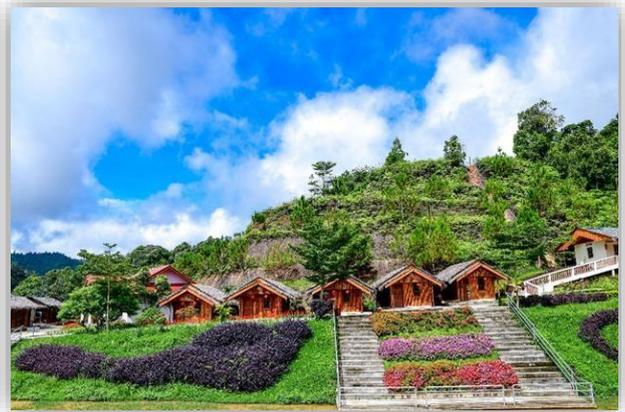
昼 : レストランで食事をする。

午後 : ヤラー県ベートン地区タノオマーロ区のピヤミット2村にある「ベートン

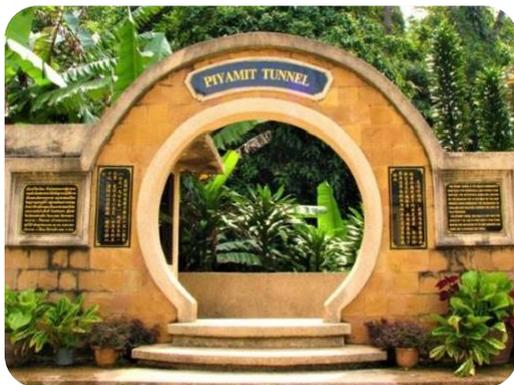


ウィンターフラワーガーデン」としても知られるムエンブツパガーデンに到着します。南で唯一の冬の花ガーデンです。ベートンは、海拔約800メートルの地形に適した気候であるためです。天気は一年中涼しく、水システムは十分です。そのた

め、さまざまな種類の冬の花を植えるのに適しています。このフラワーガーデンは、マハチャクリシリントーン王女の王室プロジェクトの山の中にあります。花が満開に咲き、一列に並べられた花の美しさを訪ねて、観光客を魅了します。南部の他の地域よりも気温が低い気候を体験して。フラワーガーデンのエリアに入る前に、黄色、紫、白、ピンクの両方美しい色とりどりの菊の花が植えられた温室があります。次に、グラジオラス、アマランス、マリーゴールド、サルビア、ダリア、チューベローズ、ヒイラギ、蝶、孔雀、金のネックレスの破片などの屋外の花壇に分かれているフラワーガーデンに入ります。オランダの風車、庭園の中に橋、そしてその上に目立つブッパラム

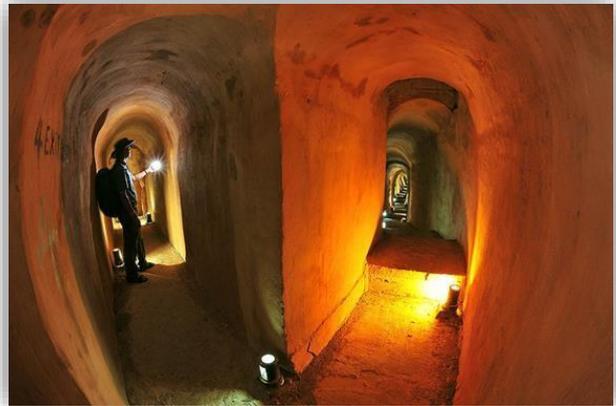


ムガーデンのネームプレートがあります。屋外のフラワーガーデンの向かいには、ユリ、アスター、菊、バラ、孔雀、ガーベラ、グラジオラス、エンジェルイヤリングなどの色とりどりの花が咲く温室ガーデンがあります。しかし、ユリは冬の間と1月のベトンフラワーフェスティバルの間だけ見ることができます。ムエンブッパガーデンは、ベトンの涼しい天候とともに花の街の雰囲気体験できるもう1つの観光名所です。次に、ヤラー県ベートン地区タノオメーロ区のピヤミット1村にあるピヤミットトンネル



ルです。しかし後にタイ国家を発展させるために戻ってきました。ピヤミットトンネルは、空襲をかわすために使用されて、物資を集めるために1976年に建設されました。現在、過去の歴史を知りたい観光客向けの観光名所としてオープンしています。入り口には、祈り願うための観音の大きな像があります。

さらに歩くと、中国文化のオーラが詰まったネームプレートのアーチが見えます。いつでも観光客を歓迎する準備ができています。ピヤミットトンネルを訪ねるには、中を歩かなければならず、徒歩で約30分でトンネルに到着します。植物の木陰の下の小道に沿って階段のある散歩道を作ること



で、太陽も日陰にします。歩くのは少し疲れるかもしれませんが、途中、さまざまなブレイクポイントがあります。トンネルへの入り口はトンネル1、2、3、4、5、6と呼ばれ、合計6つの出口が



さまざまな場所に広がっています。どのトンネルに出入りするかは選択できます。樹齢千年の木々を見るために歩くのに最も近い道であるトンネル1の出口で出かけることをお勧めします。このトンネルは1976年に建設されました。建設には、山中に掘るのに40~50人かかり、完了するのに3か月しかかかりませんでした。トンネルの幅は50~60フィート、長さは約1kmで、200人近くを収容でき、合計9つの入口と出口が相互に接続されています。現在6つ残っています。中には、ラジオ局、寝室、角のある隅と隙間のあ

る貯蔵室があり、頂上は大きな木々に覆われた森で、見つけるのは難しく、政府の兵士によって発見されました。トンネル内には沿って電気設備があり、内部の空気は冷です。トンネルのいたるところに、壁に土のベッドが建てられた寝室、戦闘用装備やハイキング用品、最大200人を収容できる司令室などの生命使うの痕跡が見られます。かつて軍隊の訓練場だったトンネルの外には、しかし今では、観光客を教育するための展示会や歴史博物館があります。博物館の近くには神社もあります。ウェイの終わりまで歩くと、千年のガジュマルの木を見つけるのに約15分かかります。これは、ピヤミット

トンネルツアーのもう1つのハイライトです。次に、**谷の真ん中にあるスタジアム**に旅行します。ヤラー県、ベートン地区、ベトン区、スクヤンロード、ベートン市の都市にあります。マレーシアのクアラルンプールのメルディカスタジアムに似たフィールドです。自然に囲まれた溪谷の真ん中に約120ライという非常に広いエリアがあり、日陰で新鮮な自然の雰囲気醸し出しています。また、タイで最も標高の高い場所にあるスタジアムであり、国技大会をサポートする準備もできています。毎朝は寒く、霧がかすかに見える日もあり、夕暮れ前の夕方も寒くなります。ここでは、人々は散歩に出かけたり、自転車に乗ったり、子供たちがフィールドの端を走り回ったり、フィールドでサッカーをしたりするのが好きです。公共の場所であることに加えて、それはまた、ベトンの人々が毎日運動するのに人気があります。そして最も重要なのは、スタジアムの丘の中腹にいるとき、街中のライトを見て、夕暮れ時の雰囲気がより美しい、ベートン市の美しい景色を見ることができることです。



夕方 : レストランで食事をする。

18.00 時 : **ベートンウォーキングストリート**に散歩に行きます。予防措置の状況を



評価するための作業部会は、ベトン市と共同で、車椅子、ホーカー屋台の場合に国内の清潔さと秩序を維持するための措置を組織しました。路地をカラフルに改装し、さまざまな路地に電灯を設置して、町の清潔さ

と秩序を維持するための措置に従って、起業家、行商人、屋台が整然と食料を配給できるようにします。仮設看板「ナイトバザールベトン」を設置する準備ができました。

そして、ナイトバザールベトン3つのゾーンすべてが賑やかになり、将来的にはウォーキングストリートになるまで、さまざまな方法でトレーダーを引き付け、バイヤーを引き付けるように発展します。さらに、清潔さ、



便利さ、平和、美しさの原則に従って、マスクを着用し、手を洗い、社会的距離(Distancing & New Normal)を維持するようにオペレーターとサービス受領者にアドバイスしています。3つのゾーンに編成された路地用は、ゾーン A、警察署の向かいのソイ、モダンタイホテルの向かいのソイ、ホテルの向かいのソイ 25 階です。2.ゾーン B ソイウイシット、モダンタイホテルの隣のソイです。3.ゾーン C、クルンタイ銀行の隣のソイ、スクヤン支店、政府貯蓄銀行の隣のソイ屋台、生鮮市場の向かいの路地です。毎週金曜日、土曜日、日曜日 16.00-22-00 (月の第3週を除く)

19.00 時 : ガーデンビューベトンホテルで休憩する時間です。

3 日目: ベトン - チャンハイ寺院 - ハジャイ - バンコク

朝 : **ホテルのレストランで朝食を食べます。** 食事の後、ホテルからチェックアウトするために荷物をしまう。その後、ヤラー県のベトンを出発し、チャンハイ寺院に向かいます。約 3 時間かかります。

11.00 時 : ハジャイ-スンガイコーロック鉄道、トゥンプラー地区のバンパーライにあるチャンハイ寺院に到着します。ナープラドゥ駅とパライ駅の間、市内から 31 km のところに、300 年以上前に建てられた古い神殿があります。精舎の中には、本物と同じ大



きさのルアンプトゥアットの像があります。また、仏舎利塔、チェディ、モンドップ、ウボソット、鐘樓の建築はとても美しいです。そこに着くには、高速道路 42 号線、パタニ - コクポー線に乗り、ナケト交差点を通過し、高速道路 409 号線、パタニ - ヤラー線を直進します。ナプラドゥ市コミュニティと職業訓練センターを通

じて (チャンハイ寺院) ジャンクジョンまで、さらに 700 メートルワットチャンハイに入ります。祖父トゥアット牧師は、チャンハイの淡水を踏んで仏法の教えを学ぶ能力を持ち、非常に思いやりのある人になりました。途中、ジャンクでアユタヤに行った時、食べ物や飲料水が海に落ちるまで嵐があったと言われています。船乗りたちはとても喉が渴いたので、ルアンプトゥアットは慈悲を示し、海に足を落としました。その地域の水は薄いで飲めるようになっているように見えました。それ以来、彼の名前は広く知られています。その後、ルアンプトゥアットはマレーシアで亡くなり、彼の体をチャンハイ寺院に戻しました。そして、毎年、朔望月の月の衰退の初日にルアンプトゥアットの灰を浴びるイベントがあります。



昼 : レストランで食事をする。

午 : その後、チャンハイ寺院を出発し、ハジャイ国際空港で飛行機に乗ります。旅行時間は約 1 時間 30 分です。

16.00 時 : ハジャイ国際空港に到着し、エアアジアの FD3109 便でスワンナプーム空港（バンコク）に飛行機で戻ります。飛行時間は約 1 時間 30 分です。

17.30 時 : 無事にスワンナプーム空港（バンコク）に到着します。

サービス率

	値段
開始価格/人	4,599 バーツ

このサービス料金にはこ以下が含まれます。

- ルームサービス料金
- VIP バン（プログラムに従って旅行）
- 飲料水 1 本/日
- 旅程で指定されたアトラクションへの入場料
- 旅行中のツアーガイド
- 医療費方針に基づく旅行傷害保険は、1 人あたり 50 万バーツです。または死亡した場合、保険会社の条件により、1 人あたり 1,000,000 バーツが上限となります。健康保険は含まれていません。
- 食費、旅程で指定された項目に従って。
- リストに指定されている標準的なホテル料金（1 部屋あたり 2 人）



NATNARA Travel

RK Biz Center Motorway-Romklao Frontage Rd., Latkrabang, Bangkok 10520

Certificate 0105562204095 licence 12/02963 Tel.062-8595241 Line: natnsh

このサービス料金含まれていません。

- 指定されたエコノミークラスの旅程に従った往復航空料金
- 手荷物が航空会社の指定重量を超えた場合、または手荷物が標準サイズを超えた場合の料金
- 会社が飛行機のチケットを発行した後に航空会社が請求する追加の燃料税
- 室内ミニバー（該当する場合）、リストに指定されているもの以外の個人的な費用です。
- 菜食主義者のための食費、イスラム教徒のための食べ物料金
- 実際の支払いに基づく外国人の追加入場料
- バン予約の装填料
- VAT 7%、源泉徴収税 3%
- ドライバーとガイドのためのヒントは一人あたり 300 バーツ